

11月16日～11月23日の回顧◆

	USDJPY	EURJPY	AUDJPY	日本国債10年	日経平均	TOPIX	CLOSE	
OPEN	104.70	124.00	76.16	0.020	25,652.69	1,717.44	米国債10年	独国債10年
HIGH	105.10	124.43	76.74	0.020	26,057.30	1,740.62	0.8530	-0.5820
LOW	103.65	122.79	75.37	0.010	25,425.59	1,710.47	原油先物	金先物
CLOSE	104.50	123.76	76.16	0.010	25,527.37	1,727.39	43.06	1,837.80

日付	国	イベント	
16	米	バイオテクノロジー会社	ワクチン臨床試験で94.5%の効果を得たと発表
17	米	パウエルFRB議長	「感染急増、目先の経済回復に著しいダウンサイドリスク」
18	米	製薬大手会社	新型コロナウイルスワクチンの有効性が95%と発表
20	米	米報道機関	米大手製薬会社、ワクチン緊急使用許可申請
23	米	米報道機関	バイデン氏、次期財務長官にイエレン前FRB議長を指名

【外国為替市場】ドル／円は下落

一週初は、ワクチン開発に係る報道により、円売りが急速に強まったことでドル／円は105円台前半まで一時急上昇する場面もあったが、概ね104円台後半から後半のレンジを推移した。一週中は米国での新型コロナウイルス感染急拡大に伴い、景気減速懸念が意識されるなか、ドル／円は104円台後半から103円台後半まで水準を下げた。

一週末は、特段材料の無いなか、ドル／円は103円台後半をもみ合い推移し、この週の取引を終えた。

一また、本邦祝日の23日には、市場予想を上回る米経済指標等を受け、ドル／円は103円台後半から104円台半へ急上昇した。

【国内金利市場】長期金利は小幅に低下

一週初の国内長期金利は0.02%で始まり、日経平均の上昇等にも反応なく、同水準を横ばい推移した。

一週中は、20年国債入札において強い債券需要が確認されたことを受け、国内金利は超長期ゾーンを中心に買いが強まった。これにつれて長期金利も0.015%に低下した。さらにその後、特段材料の無いなか、長期金利は0.010%へ低下した。

一週末には、流動性供給入札の強い結果を受けて中短期ゾーンの買いが強まる場面がみられたが、国内長期金利への影響は限られ、国内長期金利は0.010%でこの週の取引を終えた。

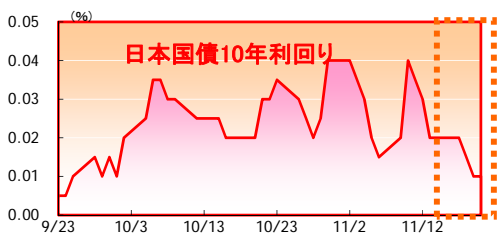
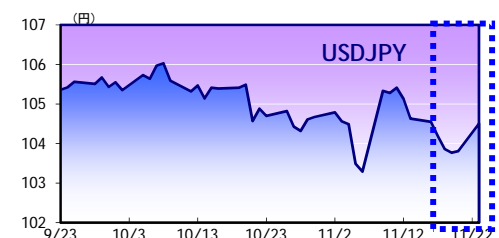
【国内株式市場】国内株式は3週連続の上昇

一週初は、7-9月期GDPの大幅上昇やワクチン開発への期待から投資家がリスク選好姿勢となり、景気敏感株を中心に買いが先行し、日経平均株価は終値で約29年半ぶりに2万6000円を上回った。

一週中は、世界で新型コロナウイルス感染が急拡大したことで景気減速が意識され、近時の相場加熱に対して警戒感が強まったこと等を背景に、利益確定売り優先の流れとなった。

一週末は、新型コロナウイルス感染再拡大による経済停滞が懸念される中、東京市場三連休を前に手じまい売りが優先した。一結局、日経平均株価は前週末比+141円50銭の25,527円37銭でこの週の取引を終え、3週連続の上昇となった。

日	指標	予想	結果
16	中国10月鉱工業生産(前年比)	6.7%	6.9%
16	中国10月小売売上高(前年比)	5.0%	4.3%
16	米11月ニューヨーク連銀製造業景気指数	13.5	6.3
17	米10月小売売上高(前月比)	0.5%	0.3%
18	ユーロ圏10月消費者物価指数(前年比)	-0.3%	-0.3%
18	米10月住宅着工件数	1460k	1530k
23	ユーロ圏11月マクタイト製造業PMI	53.2	53.6
23	ユーロ圏11月マクタイトサービス業PMI	42.0	41.3
23	米11月マクタイト製造業PMI	53.0	56.7
23	米11月マクタイトサービス業PMI	55.0	57.7



◆11月24日～11月29日の見通し◆

日付	国	イベント
24	米	ブラード・セントルイス地区連銀総裁 講演
25	米	FOMC議事要旨 11/4-5日開催分
26	米	米国市場休場

【外国為替市場】ドル／円は小幅な下落を予想

－米国では、1日あたりの新規感染者数が過去最多を更新している。今後発表される米経済指標は弱い数字が増えてくることで、ドルが売られ易い地合いになるとみる。

－一方で、ワクチン開発の進展に係る報道が好感され、米国株式市場が最高値付近で推移していることを踏まえると、投資家のリスク選好姿勢は相応に高まっていると推察される。今後のワクチン開発進展の報道に対し、リスク選好姿勢が維持されることでドル／円の下落余地は限定的となろう。

－以上より、今週のドル／円は小幅な下落を予想する。

【国内金利市場】長期金利は横ばい推移を予想

－先週の国内長期金利はゼロを前に下げ渋り、金利低下余地の乏しさが確認された。米製菓大手に続き、英製菓大手からもワクチン開発にかかる報道が出てきている。米国ではいよいよワクチン実用化の見通しも出てきており、経済活動正常化の期待が高まりやすいだろう。かかる状況下では債券から株式に資金が流れやすいと考えられ、金利低下余地は限定的であろう。

－一方で、元FRB議長のイエレン氏が次期米国財務長官に指名されており、FRB時代に失業率重視で金融緩和積極派であった同氏の登用は米国金利の上昇を抑制すると考えられ、国内金利も低位安定推移しやすいだろう。

－以上より、今週の長期金利は横ばい推移を予想する。

【国内株式市場】国内株式はもみ合いの展開を予想

－世界で新型コロナウイルス感染が再拡大する中、国内でも新規感染者数や重症者数が過去最多を更新しており、Go To キャンペーンの見直しによる経済停滞への懸念などが強まることで、高値圏では上値が抑えられやすいだろう。

－一方で、新型コロナウイルスワクチンへの実用化への期待感で国内外の株式市場が下支えされる展開が考えられる。調整局面では相応の押し目買いが入ることが予想され、下値も限定的と見る。

－以上より、国内株式はもみ合う展開を予想する。

〈予想レンジ〉

ドル／円	103.00-105.10	円	↓
ユーロ／円	122.60-125.00	円	→
豪ドル／円	75.80 - 77.60	円	→
TIBOR3カ月	0.05 - 0.10	%	→
日本国債5年	-0.13 - -0.09	%	→
日本国債10年	-0.010 - 0.05	%	→
日経平均	25,000-27,000	円	→

(出所:bloomberg)

日	指標	予想	前回
24	独3QGDP(季調済/前期比)	8.2%	8.2%
24	独11月IFO企業景況感指数	90.2	92.7
24	米11月消費者信頼感	97.9	100.9
25	米10月卸売在庫(前月比)	0.4%	0.4%
25	米3QGDP(年率/前期比)	33.1%	33.1%
25	米10月耐久財受注(前月比)	0.9%	1.9%
25	米10月個人所得	0.0%	0.0%
25	米10月個人支出	0.4%	1.4%
25	米10月PCEコアデフレーター(前年比)	1.4%	1.5%
25	米11月ミシガン大学消費者マインド	77.0	77.0
25	米10月新築住宅販売件数	975k	959k

【用語解説－カマラ・ハリス氏について】

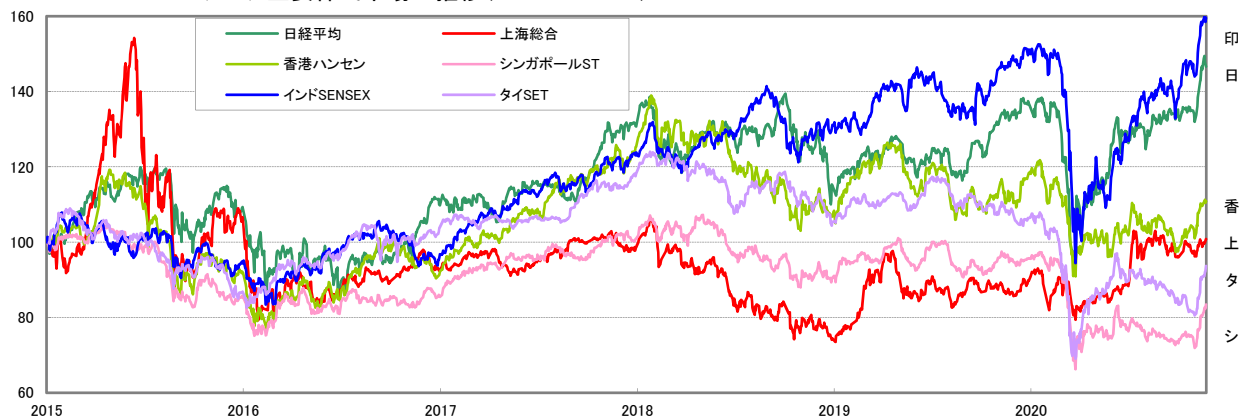
1964年10月20日生まれ、カリフォルニア州オークランド出身。司法試験合格後、カリフォルニア州で地方検事を経験した後、女性初のカリフォルニア州司法長官に就任。2016年に民主党カリフォルニア州選出の上院議員に選出された。2020年の大統領選では民主党候補として立候補するも撤退後、バイデン氏より副大統領候補の指名を受けた。バイデン氏が歴代最高齢で大統領に就任するだけにハリス氏の政治的手腕に注目が集まる。

◆アジア市場の動向◆

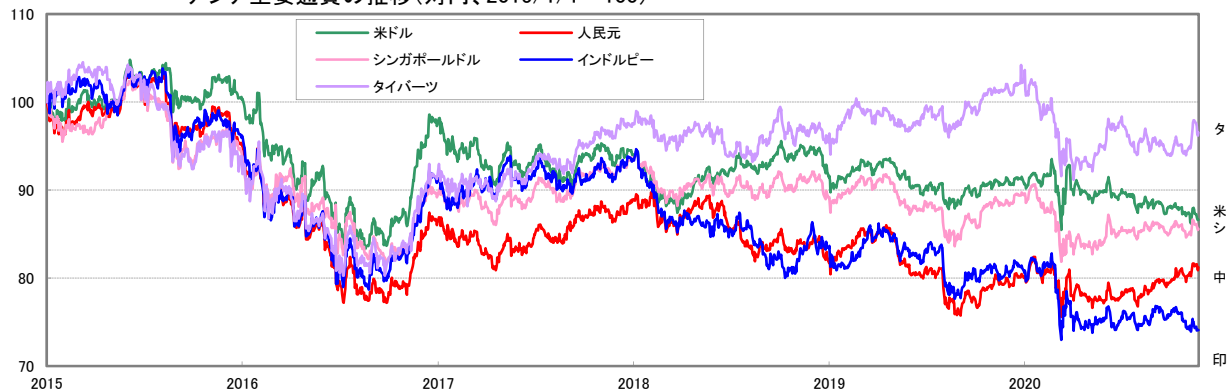
株式市場(前日終値)				外国為替市場(対日本円、前日終値)			
上海総合	3,414.49	タイSET	1,420.43	人民元	15.86	タイバーツ	3.4426
香港ハンセン	26,486.20	ベトナムVN	994.19	香港ドル	13.48	ベトナムドン	0.4509
韓国KOSPI	2,602.59	マレーシアKLCI	1,597.48	韓国ウォン	9.37	マレーシアリング	25.375
シンガポールST	2,848.78	ジャカルタ総合	5,652.76	シンガポールドル	77.75	インドネシアルピア	0.738
インドSENSEX	44,077.15	フィリピン総合	7,178.62	インドルピー	1.4075	フィリピンペソ	2.1518

(※韓国ウォン、インドネシアルピアは100通貨、ベトナムドンは10,000通貨あたり)

アジア主要株式市場の推移(2015/1/1=100)



アジア主要通貨の推移(対円、2015/1/1=100)



アジアと主要先進国の実質GDP(前年比%)

	2019/4Q	2020/1Q	2020/2Q	2020/3Q
中国	6.0	-6.8	3.2	4.9
韓国	2.3	1.4	-2.7	-1.3
インド	4.7	3.1	-23.9	--
シンガポール	1.0	-0.7	-13.2	-5.8
タイ	1.6	-1.8	-12.2	-6.4
ベトナム	6.97	3.68	0.36	2.62
マレーシア	3.6	0.7	-17.1	-2.7
インドネシア	4.97	2.97	-5.32	-3.49
日本	-0.7	-1.7	-9.9	-5.8
米国	2.3	0.3	-9.0	-2.9
ユーロ圏	1.0	-3.1	-14.8	-4.4

アジアと主要先進国の政策金利

中国	1年物貸出金利	4.35%
	1年物預金金利	1.50%
香港	翌日物基準金利	0.50%
韓国	7日物レポレート	0.50%
インド	レポレート	4.00%
タイ	レポレート	0.50%
ベトナム	ベースレート	9.00%
マレーシア	オーバーナイトレート	1.75%
インドネシア	7日物リバースレポレート	3.75%
日本	日本銀行当座預金金利	-0.100%
米国	FFレート誘導目標	0.00-0.25%
ユーロ圏	リファイナンスレート	0.00%